

千葉都市モノレール株式会社

転落防止床トップコート更新工事(桜木駅)

設 計 図

出 典			千葉都市モノレール株式会社	管理	調査	設計	工事名称	転落防止床トップコート更新工事(桜木駅)	図 尺	表紙	図 番 号	図 番 号
						工事箇所	桜木駅					

図面目録

位置図	1/1000
補修図(桜木駅)	図示

位置図

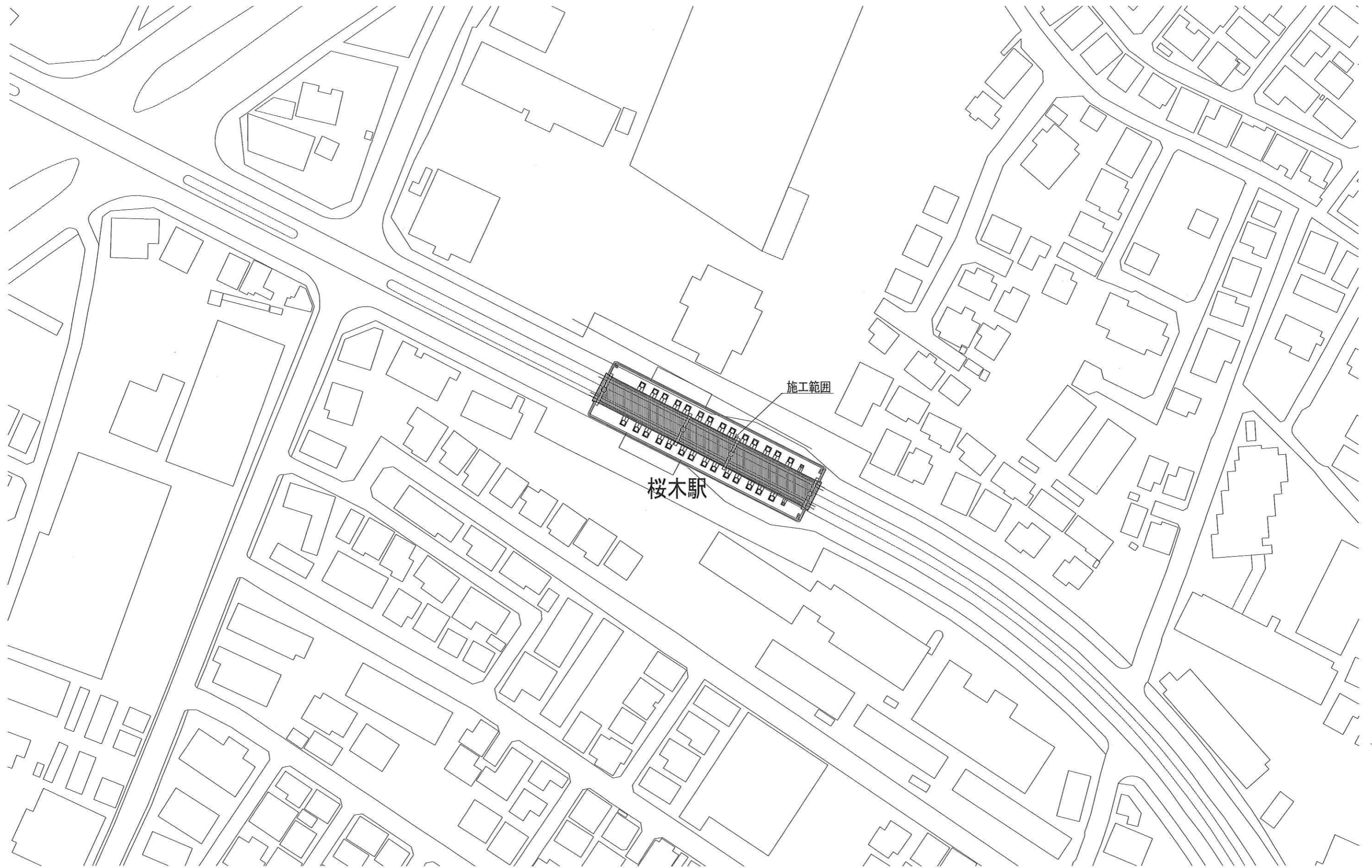
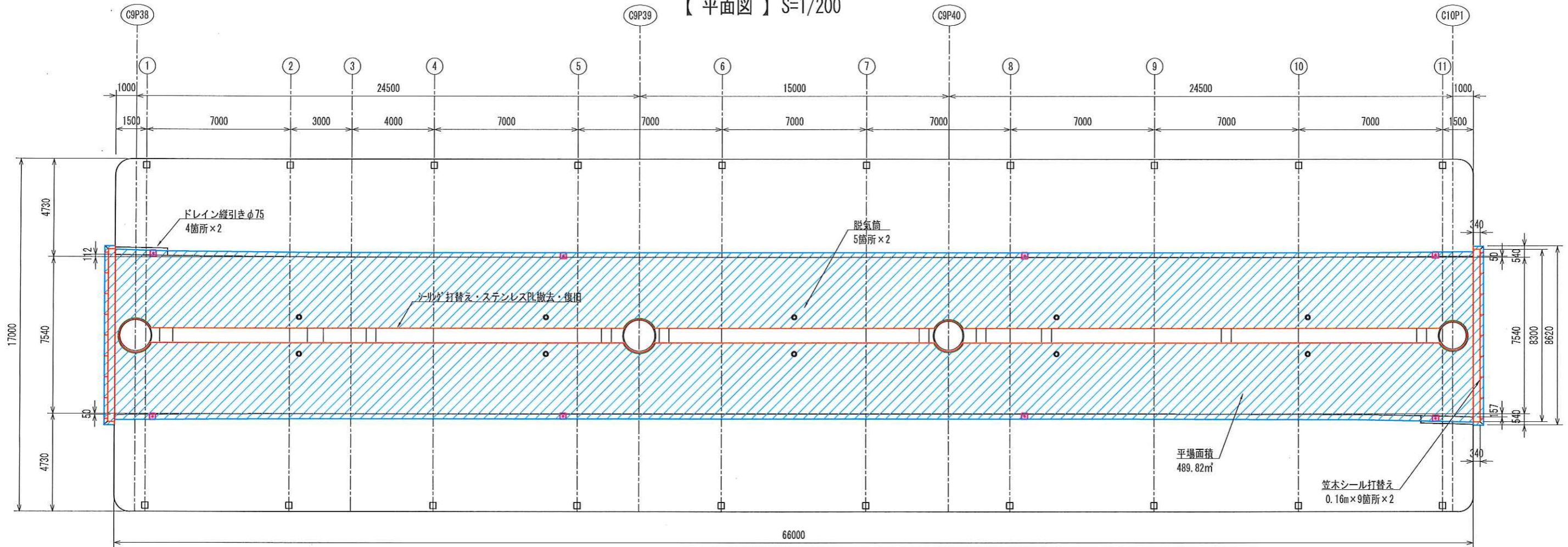


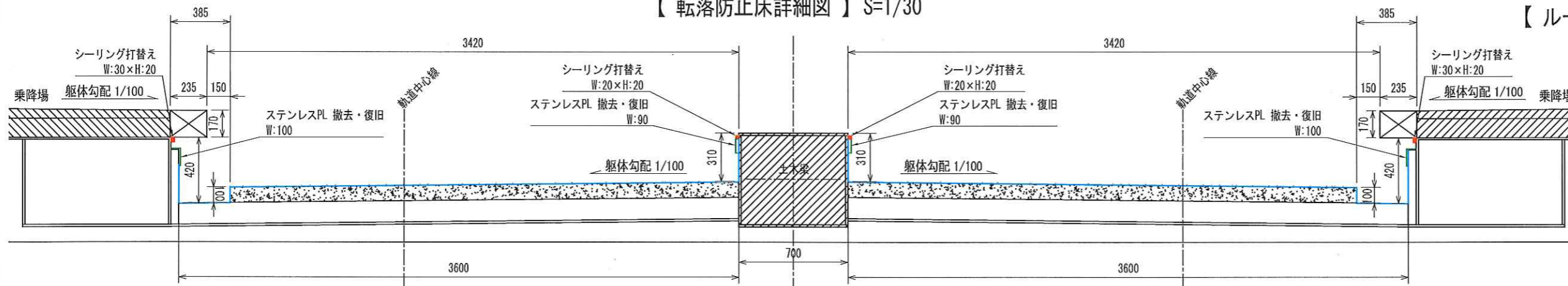
図 号	千葉都市モノレール株式会社				管理	調査	担当	工事名称	転落防止床トップコート更新工事(桜木駅)	図面名称	位置図	比例尺	1:1000	図面番号	1/2
									工事場所	桜木駅					

補修図 (桜木駅) (S=図示)

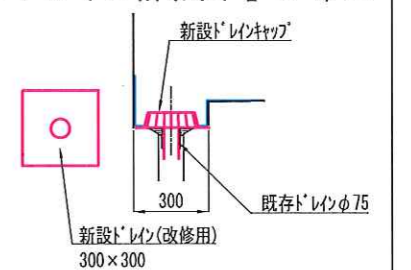
【平面図】 S=1/200



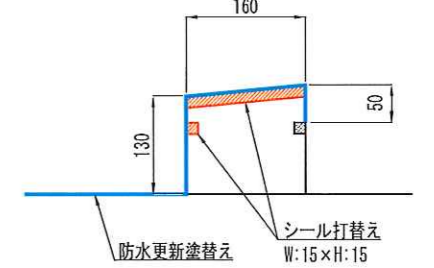
【転落防止床詳細図】 S=1/30



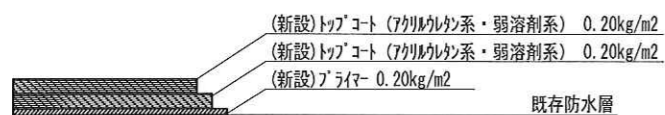
【ルーフドレイン詳細図】 S=1/30



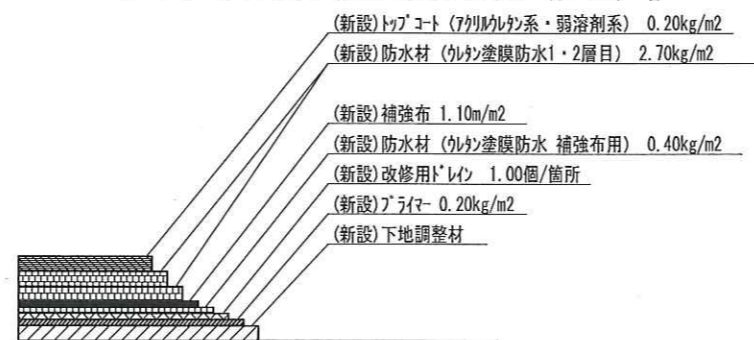
【笠木詳細図】 S=1/10



【トップコート塗替え仕様 (参考)】



【ドレイン回り防水改修仕様 (参考)】



- ※ 既存ドレインの内径を確認し、現場に適した改修用ドレインを取り付けること。
- ※ ドレインキャップの仕様については発注者に確認を取り、施工すること。
- ※ 防水材は、公共建築工事標準仕様の同等以上の防水性能を有し、製品の仕様に準拠して施工すること。
- ※ また、既存防水層に合った防水材を選定すること。
- ※ シーリング材は変性シリコン (MS-2) を使用すること。
- ※ 転落防止床表層にわれ、ふくれ等が発生している場合は、適切に処置を行った上、施工すること。
- ※ 笠木部は、下地に合ったプライマーを塗布後、防水材を塗布すること。
- ※ 既存防水層の撤去範囲は、施工時に状況を確認の上、範囲を変更する場合は発注者に確認すること。
- ※ 既存防水層撤去後、必要に応じて下地調整を行うこと。

凡例

表示	防水仕様
	シーリング打替え
	防水層更新